

がくしゅうかだい（2ねんせい）

【国語】おうちの人とけいかくをたてて、すこしずつすすめていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「ともだちをさがそう」（きょうかしよ 34～37 ページ）にとりくみます。

① 35 ページの絵の中から、次の3人を見つけます。

- ・ 白いふくをきていて、水色のふくをきた赤ちゃんをだっこしている男の人。
- ・ オレンジ色のふうせんをもち、赤のしましまのふくをきた子。
- ・ 白いぼうしをかぶり、水色のワンピースをきて、めがねをかけている子。

② 35 ページの中からひとりきめて、見つけてもらえるには、どのように話したらよいか考えて書きましょう。

※書けたら、つぎの人もきめ、なんどもやってみましょう。おうちの人にクイズをだしてみるのもいいですね。

（例）わたしが^{れい}見つけてほしい人は、きいろいふくをきて、ひとりでソフトクリームをもっている人です。

◆きょうかしよ 34～37 ページまでに出てきたあたらしいかん字「話」「聞」とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・ 「ともだちをさがそう」は実際に話したり聞いたりする学習です。お子さんと P35 の絵を見ながら「探し当てクイズ」のような活動ができると、より効果的な学習になります。
- ・ 実際に人を探すときは、場所が分からないことが前提となります。お子さんの文章や話の中に、場所に関わる情報が出てきた場合、（木のとなり、観覧車の中など）「場所以外で分かるヒントは？」と聞き、別の特徴などに目を向けさせてください。
- ・ ②でお子さんが書いた（話した）文章をヒントに、人物を探してみてください。正解した場合は、「〇〇の言葉で分かったよ」、分からなかった場合は、「〇〇と書いて（話して）くれた方が分かったよ」と声をかけてあげてください。

